

やっぱり 看護が好き

座談会

応援します! あなたの復職 part 2
10年の蓄積と新規参入のメリットを
研修病院に聞く

Interview ● これからの看護

管理者として、スタッフの育成と
ワーク・ライフ・バランスを大切に

特別Interview

仲間とチャンスに出会い、
求められている自分を感じてほしい

●
平成29年度の研修について(ご案内)

管理者として、スタッフの育成とワーク・ライフ・バランスを大切に

20代は病院看護師として臨床の現場で活躍し、30代は教育者として後進を育成してきた葉山さんは、40代に入り経営者として在宅医療の道を選びました。現在も教育者の顔をもつ葉山さんはスタッフの育成を大事に考えています。そして同時に、やり甲斐を持って気持ちよく働いてもらうためのワーク・ライフ・バランスにも心を配っています。葉山さん自身のモチベーション維持方法をとうかがうと、「休日はオーケストラでピアノを演奏してリフレッシュしています」と素敵な笑顔をのぞかせました。

葉山さんが、なごみ訪問看護ステーションを立ち上げたのは2005年のこと。それまでは、東京都立看護専門学校で後進の教育に携わっていました。「長らく東京都の職員として勤務してきましたが、将来を見据えて独立を考えるようになりました。そこで、自分のスキルを活かせる仕事は何かと、歩んで来た道を振り返ってみました。これまで臨床現場で種々の疾患をもつ患者さんに接したこと、臨床では未経験だったけれども教育現場で学んだ精神科や小児科のこと、外科病棟実習や在宅実習に携わったことなど、その全ての経験を活かせると考え、訪問看護ステーションを開設することにしました。開設前の1年間は、準備期間として別のステーションに勤めたのですが、医師の指示はあるものの看護師自らがアセスメントをしながら判断し、入念なケアを実施できる訪問看護の仕事に、とてもやり甲斐を感じました」。

同ステーションでは、30〜50代を中心とした小児から高齢者まで幅広い利用者へのケアを、5人の看護スタッフが提供しています。管理者として大切にしていることをうかがうと、「スタッフには、やり甲斐を持って気持ちよく働いてほしいですし、どう育成していくかについても大事に考えています」。

ある程度の得意分野を中心に自分で考えるケアをしてもいい、結果が出れば成果を認め、振り返りをするといった教育的な関わり方をしています。また、年1回は学会参加などを促し、新しい知識を身につけてもらうようにしています。さらに、仕事と育児や家事といった生活とのバランスが取れるように、希望があれば週休3日で働いてもらうなど勤務体制を工夫しています」と説明してくれました。

経営を学ぶためにMBAを取得したという葉山さんは、認定看護管理者でもあります。現在も東京都立荏原看護専門学校で非常勤講師として講義を受け持つほか、近年は愛知県看護協会が主催する訪問看護認定看護師教育課程で経営管理の講師を務めています。「教えることは自分の勉強にもなります。訪問看護認定看護師教育課程は全国からモチベーションの高い看護師が集まりますのでグループワークも活発です。在宅医療は本当地域差が大きく、環境も違えばニーズも全く異なることも知りました」。

東京都内にも地域差があり、江戸川区は戸建住宅の割合が高く、高齢者を家族でみている世帯が多いそうです。そうした中で葉山さんには印象深い経験があります。「がんを患っていた90歳近い



●プロフィール

葉山 香里(はやまかおり)

東京都立広尾看護専門学校卒業、東京都立墨東病院に10年間勤務、東京都立広尾看護専門学校および荏原看護専門学校に専任教員として7年間勤務、日本大学大学院グローバルビジネス研究科にて経営学修士(MBA)取得、1年間の訪問看護ステーション勤務を経て現職。

看護師・経営学修士・介護支援専門員・認定看護管理者、東京都立荏原看護専門学校非常勤講師、愛知県看護協会訪問看護認定看護師教育課程講師、東京都訪問看護ステーション協議会広報委員、江戸川区介護認定審査会委員。

平成29年度の研修について(ご案内)

地域包括ケアシステムの推進により、医療・看護は病院から地域・在宅へと大きく変化してきました。中小規模施設の病院は、生活の場に近い医療機関として、地域と連携したより質の高い看護サービスの提供が求められています。東京都ナースプラザでは、都内の約70%を占める200床未満の中小規模施設で働く看護職の資質向上・定着促進のための研修とともに、再就業を目指す看護職への就業支援を行います。

平成28年度の研修に参加された受講者の方々からは、「講義がわかりやすく臨床で活かせる内容だった。実技もあったので実際にイメージがしやすかった」、「自分の普段の患者さん、利用者さんへの対応を考えさせられることがたくさんあった」などの感想をいただきました。とくに、「再就職へのステップ3日間研修」の受講者からは、「有意義な3日間で、自分はやはり看護師という仕事が好きなんだという気持ちが出てきた」など意欲的な声が聞かれました。また「新人看護職員研修」では、「同じ1年目の看護師と悩みや不安を共有するだけでなく、看護とは日々何をするのか、心構えを新たにすることができた」など、看護職としての自覚が高まった心強い決意が述べられていました。

平成29年度の研修では、新規研修3科目を加え、総研修科目数は52科目、総定員は3,977名になります。「新人看護職員研修」

は要望の多かった実技研修を含めた3日間コースのみとして定員数を増やし、開催時期の変更を行いました。その他、より多くの方々を受講しやすいよう定員の見直しを行い、内容がわかりやすいよう研修名を改めました。

新規に計画した研修

- 最新の知見・技術研修
「リンパ浮腫のケア」
 - 高齢者看護関連研修
「認知症の人とのコミュニケーション」
 - リーダーシップ研修
「ミーティングリーダーシップ研修」
- 話し合いの質を高めるために—

期待の若返り物質「NMN」

NMNは正式名称ニコチンアミド・モノヌクレオチドといい、ナイアシン(水溶性ビタミンB3の一種)からつくられる物質です。ナイアシンを含む食物を摂取すると、体内でNMNがつけられます。NMNはニコチンアミド・アデニンジヌクレオチド(NAD)に変換され、身体の機能を保つのに利用されます。つまり、NMNはナイアシンとNADの合成中間体で、私たちがもともと体内にもっている物質なのです。しかし高齢になるとNMNをつくる力が衰え、NADも減少して老化が進みます。

ハーバード大学によって行われた動物実験では、生後22カ月のマウスにNMNを1週間摂取させたところ、生後6カ月に若返ったといえます。これは、単純にヒトに換算すると、60歳が20歳に若返ったことになるそう。

NMNはワシントン大学医学部教授の今井眞一郎博士によって、2011年に発見されました。糖尿病に著しい効果があることが報告され、注目を集めた物質です。その後の動物実験で、老化により引き起こされるさまざまな疾患に効果を現すことがわかりました。実験に使われた質の高いNMNは日本企業と日本人研究者の共同研究でつくり出されました。現在日本でも臨床試験が行われており、安全性が確認されれば、機能性表示食品のようなかたちで市場に出回ると予測されています。

少子高齢化に悩む日本にとって、若々しくいられ現役で働ける年数が延びるのは大歓迎。

今後の動静が注目されます。



1) https://www.keio.ac.jp/ja/press-releases/files/2016/7/12/20160711_1.pdf



第一四半期の研修応募受付は3月6日(月)より開始します。

研修の詳細につきましては、研修計画(冊子)ならびに一覧表、ホームページ等をご覧ください。

多くのご応募をお待ちしています。

高橋 奈美江さん

〔社会医療法人社団順江会 江東病院 教育担当部長〕

薬真寺 美佐子さん

〔公益社団法人地域医療振興協会 練馬光が丘病院 看護部長〕

小林 正子 東京都看護師等就業協力員

〔東京都ナースブラザ〕

大田 敦子 所長〔司会〕

〔東京都ナースブラザ〕

東京都の看護職員地域確保支援事業に、いま全国から熱い視線が注がれています。27年度末までの9年間で、延べ3,000名もの復職希望者がこの事業の復職支援研修に参加しました。28年度現在、研修病院としてこの事業に参入しているのは34病院。事業参入10年の蓄積と新規参入で得られたメリットを担当者にお聞きします。

新規参入してよかったこと

大田 今日は2つの看護職員地域就業支援病院（研修病院）から、現場で復職支援研修を担当してくださっているお二方においでいただきました。東京都ナースブラザ（ブラザ）からはサポート側の代表として小林協力員が出席させていただきます。

江東病院さんは、この事業開始の10年前からずっと研修病院としてかかわっていただいています。一方、練馬光が丘病院さんは今年度初めて研修病院として参入されました。お二人が勤務されている病院と看護部については下欄も参照いただくと、まず、どのような思いで研修病院に応募していただいたのかお聞きしたいと思います。



高橋さん

高橋 一人でも多くの潜在

やっぱり看護が好き 座談会

応援します！あなたの復職 10年の蓄積と新規参入の メリットを研修病院に聞く

part 2

看護師の方に復職していただくことは、いまの日本の看護の世界で何より求められていることだと思います。研修病院としてこの事業にかかわらせていただくことは、病院全体でそれを知る機会になると思っています。

薬真寺 当院は設立から、まだ5年経っていません。そんな中で27年度に一度応募させていただきました。教育体制などを見直して充実を図り、28年度に、初めて研修病院に選んでいただきました。応募の理由としては、新しい病院ですので、地域で当院を認めてもらいたいという思いがありました。

大田 研修病院は東京都の公募で、おっしゃるよう教育体制が整っているかなど、基本情報をもとに総合的に判断させていただきましたので、やはり選ばれた病院という一つのステータスになるかと思えます。

復職支援研修は二応の枠組みはありますが、それ以外は個々で工夫いただいています。長年研修病院をお引き受けいただいている江東病院さんでは、どのように取り組まれていますか。

高橋 この事業が始まった当時は、研修を受ける方も当院も、この事業があることを初めて聞きましたので、実際のところどうかかわっていったら復職につながるかというのは、やってみないとわからないところがありました。最初の1〜2年は枠組みに忠実に、時間の組み替えもなくやらせていただきました。

ました。その後は毎回のアンケートから研修生の意見を取り入れて、改良を加えながら毎年取り組んでいます。

大田 経験を積み重ねて、研修の精度も上がってということですね。練馬光が丘病院さんは、今回初めてこの事業に取り組まれたわけですが、いかがでしたか。

薬真寺 以前は年度内3回だったのが2回になったと聞き、それなら何とかできそうと思っただけで応募させていただきました。それでも大変でした。でも本当に勉強になることばかりでした。

大田 やってみてよかったと思われたことはありますか。

薬真寺 地域連携という部分で人的交流が深まり、地域の病院との連携が取りやすくなったと思います。当院を地域で認めてもらえたということ、私たちの新規参入には大きな意味があったと思っています。それと何より、現場から楽しかったという声があったことです。直接指導は主任を中心としたスタッフですが、自分たちでスライドを作った分たちで講義をして、準備は大変だったと思います。が、生き生きとして、むしろ院内が活性化された



●病院と看護部の紹介

江東病院

昭和30（1955）年創立の地域を代表する中核的総合病院。訪問看護サービス、在宅診療所、老人保健施設、認知症グループホームも運営している。「患者さんに親切で誠実な医療を提供する」、「職員同士良いチームワークを図る」、「医療の質の向上を目指す」を理念に地域住民の健康増進に貢献している。看護部では、「生命の尊厳と人間性を尊重し



薬真寺さん

「第一印象があります。院内の活性化につながったというのはいすこいですが、準備が大変、あるいは自分の病院に就職してくれないのはね」と二の足を踏まれている方々もいらっしゃると思いますので、今のお話はとても心強いです。

研修病院への就職と定着

大田 研修生は地域の方が多くですか。

高橋 近隣から自転車でも来られる方も、電車で1時間ぐらいかけて来られる方もいます。

薬真寺 研修生は2回の研修で11名でしたが、うち10名が練馬区在住でした。自転車で来られるくらい近い方が多かったですね。地域での口コミというかたちでのアピールも少しできたのではないかと思います。

大田 就職が決まった方がいるようですね。

薬真寺 ありがたいことに、研修を受けた方から2名、当院に就職が決まりました。さらに研修を受けたママ友の口コミで、受けていない方が入職したということもあります。

大田 口コミ効果は意外に大きいんですね。

江東病院さんは、この事業についての長い経験がありますが、定着率はいかがですか。

高橋 当院は27年度分まで、1日コース、5日コース、7日コースを全部合わせて169名の受講生の方に来ていただきましたが、当院を選んで就職された方が51名、そのうち現在継続して働いている方が32名です。就職していただいた方に対して63%ぐらいの定着率です。



大田所長

クールダウンの必要性

大田 研修を受けられた方には、とくにどんなことを伝えていきますか。

高橋 この研修を受けたからといって、当院に就職しなければならぬということではないし、たくさん病院・施設があり、自分に合った働き方が大切だと思いますので、当院を基準にして、自分に合ったかたちで働けるところを探していただきたいということ、いつもお話ししています。

研修を受けている間にどうしても熱を帯びてきますので、もう何が何でもここに就職しなくては！という感じになる方もいます。でも、最後の交流会のときに、「今は復職への熱い思いが先行しているところだと思いますが、おうちに持ち帰って、もう少し冷静になって、ご家族とも相談して考えてみましょうね」と言ってお帰しします。

大田 看護職は真面目ですから、こうあらねばならないというかたちで、就職を前提に研修に参加する方が多いと思います。

薬真寺 高橋さんがおっしゃるとおり、最後の交流会のときは本当に高揚している方が多いですね。復職への意欲を持っているからこそ研修を受けられるのだと思いますが、やはりクールダウンは必要です。私たちでも、研修や学会に行くとき高揚感が3日ぐらいいちもちますから。(笑)

復職を目指しておられる方には、学生以上に気を遣います。せつかく一歩を踏み出していただいた勇気を支援したいと思うからです。実際に、当院に入職していただいた方たちも、入職までに4カ月ぐらいの期間があります。少し時間をとって、本当にやっていけるかどうかをじっくり考えていただくことはどうしても必要だと思います。

大田 研修を企画している私どもプラザ側としては、せつかく苦勞して研修を実施していただいたのに、就職者が誰もいないのは申し訳ないという思いがあります。でも、研修病院の担当の方は、研修生がクールダウンして、ワーク・ライフ・バランスの点もじっくり固めて、つまずくことなく定着するよう考

えてくださっているんですね。本当にありがたいことです。

研修終了後にプラザの協力員が就職相談を行っています。やはり高揚している方が多いですね。

小林 皆さん看護の現場に触れて、すぐにでも働きたくなるんですね。そして、研修先の病院に好印象をもっている方がとても多いです。「よく理解できましたし、参加してよかった」という方が9割以上です。万全の受け入れ態勢で研修を実施して下さっていることがよくわかります。

大田 現場に入ってみて、「やっぱり看護が好き」だと気がつくということでしょうか。

小林 そうだと思います。高揚している方がいる一方で、具体的なことを考え始めて不安に思われる方もいます。研修最終日の交流会では再就職された方にお話をうかがうことがあります。たとえば、子どもがいるからすぐに復職することは難しいと思っていた方も、このお話で、同じようにお子さんがいる方が生き生きと働いていることを知ると、私もできるかもしれないと思われるようです。勤務形態や生活などについてもいろいろなヒントをもらえているようです。

近いこと、福利厚生が充実していること

大田 研修では遠くから来られる方もいるようですが、就職されるのは地域の方が多くですか。

高橋 当院は都営新宿線の大島駅から徒歩1分ですので、非常に通勤の便がいいのですが、就職されるのは近隣の方が多くです。地域密着型の病院ということもあって、長く働いている看護職は近くに住んでいる人が多いです。やはり就業先は無理なく通勤できることが一番大事だと思います。

大田 練馬光が丘病院さんも近くの方が多くいますか。

薬真寺 私どものところは、地元の方はいまのところ比較的少ないです。お話をうかがっていて、定着という意味でも、もっと地元を掘り起こしていく必要があると思います。ただ難点は保育所の問題です。
大田 看護職の復帰にとっても待機児童の問題は

た看護を実践できる」「看護の専門性を追求し、知識・技術を向上させる」「チーム医療での看護部門としての役割を十分発揮して、協働関係が保てる」を理念とし、自律した看護師育成を目指して、クリ・フルラダーの導入等、教育システムも充実している。また、ワーク・ライフ・バランス推進によって多様な勤務形態があり、保育室も完備されている。

練馬光が丘病院

平成24(2014)年地域の中核病院として創立。地域が必要としている医療の提供と地域の活性化に資することを目的としており、救急医療、小児医療、周産期医療および災害時医療に力を入れている。看護部が掲げる基本理念は、「豊かな感性と思いやりの心で満足していただく看護を提供すること」。常に「自分たちに何ができるか」を考えながら患者さん一人ひとりのニーズに応えることの積み重ねで、病院が掲げる地域発展への貢献を目指す。スタッフの可能性を最大限伸ばすために、新人研修・ラダー別研修等、研修制度の充実を図っており、保育施設や寮など福利厚生に関する環境の整備にも力を入れている。

大きいと思います。江東病院さんは院内保育所をもっていましたね。

高橋 はい、乳児・幼児両方受け入れており、就学前までのお子さん也希望すれば保育所に預けられます。研修を受ける方も預けていただけます。当院では、お子さんが3歳までは夜勤がありませんが、それを過ぎたママさんナースのために、曜日を決めて保育士さんに来てもらって、安心して夜勤業務ができるようにしています。これも福利厚生の一つで、もう10年以上経っているでしょうか。保育園が決まらなくて、とりあえずうちの保育所に預けて仕事をしたいという方は、復職支援研修を受けてから来ていただいています。

大田 皆さん就職するときの決め手は、通勤時間が短いこととお子さんをどうやって育てていくかということをおっしゃいます。院内保育所など福利厚生を充実させてワーク・ライフ・バランスをどこまでバックアップできるかが重要ですね。

多様な勤務形態は定着のキープポイント

大田 復職支援研修から入職する場合、働き方はどうされていますか。

高橋 皆さん短い時間から始めていただきますので、午前中の4時間からという方もいます。そこから始めて所属長と相談しながら、日勤常勤、あるいは少しフルで働いてみようかなど、途中で勤務形態を見直しながら働いている方が25%ぐらいいます。

大田 勤務形態を選べるのは、定着の一つのキープポイントになりますね。周りのスタッフは短時間勤務をどう考えておられますか。

高橋 当院では、復職支援の方ばかりでなく、子育て中には短時間勤務を選択するスタッフもいます。最初に導入したころは、なぜ常勤じゃないのという周りの声は確かにあったと思います。でも今は、短時間勤務選択には何か理由があるということもスタッフも十分理解しています。短時間だったら、その時間内で何をやってもらおうかと現場も考えて

います。短時間でも働いてくれる、助けてもらっているという意識も根づいてきているのかと思います。

大田 ゆくゆくは常勤でという期待は、やはりありますか。

高橋 当病棟にも支援研修を受けて入職したスタッフがありますが、最初は非常勤で4時間ぐらいから働き始めて、慣れたところに延ばしていき7時間勤務になりました。ですから、フルで働けるぐらいなのですが、朝の時間帯が難しいとのこと、非常勤で働き続けています。そんな場合は、「もう少し違う勤務形態はどうか？」と師長のほうから提案しています。

大田 病院全体でいろいろな働き方を受け入れていくのですか。



前列左から薬真寺さん、高橋さん、後列左から大田所長、小林協力員

事業10年の蓄積があつて

大田 私たちは東京都の看護職の確保・定着を目指してこの事業を推進してきたわけです。長く研修病院をお引き受けいただいているところでは復職支援研修の精度が上がって、たくさんの方の研修生の方を復職に結びつけていただいています。でも、それだけではないですね。研修病院を10年続けてこられた江東病院さんでは、勤務形態の多様化や院内

保育園などの福利厚生の実現など、病院全体の变化があったことがよくわかりました。これは、小さな変化の積み重ねが10年間ずっと継続されてきた結果なのではないかと思っています。素晴らしいことですね。

薬真寺 おっしゃるとおりだと思います。江東病院さんで長く継続してこられたことの蓄積があつて、新規参入したばかりの当院も何とかやれているのだと思います。いろいろな工夫を教わりながら今後も続けていければと思います。

大田 小林協力員からは何かありませんか。

小林 復職したいと思つていても、ブランクが長いことや年齢について悩んでしまい、なかなか一歩を踏み出せなかったというお話をよく聞きます。申し込むまでに3年かかりましたという方もいました。あるいは、仕事をしていたときの研修のイメージがあるのでしよう、「終わった後にレポート提出があるのですか」と聞かれることもあります。体験型でリラックスして受けていただける研修ですし、研修に通う5日間または7日間が、復職したときの時間の使い方のシミュレーションになったというお話も聞きます。復職を考えている方にとつて必ず役立つ研修ですので、ぜひ勇気を出して申し込んでいただきたいと思っています。

大田 江東病院さんは先駆的にやってこられた経験で、ぜひこれから参入される病院を導いていただきたいと思います。練馬光が丘病院さんは今回初めて参入されたにもかかわらず、院内活性に結びついたということ、本当によかったと思います。今後ともご協力をよろしくお願いたします。本日はありがとうございました。



特別インタビュー

Interview

山元 恵子
会長
東京都看護協会

仲間とチャンスに出会い、 求められている自分を感じてほしい

3つのキーワードに願いを込めて

首都東京のグローバルな看護協会でありたいという願いを込めて、取り組みたいことが3つあります」と話すのは2016年6月に就任した東京都看護協会の山元恵子会長。すべての会員に提案したいキーワードは、1) 自己実現、2) 国際人となる、3) 社会人としての成長だといいます。

「振り返ると、楽しかった仕事は他人に指示されたことではなく、自ら積極的に切り拓いていったものです。全ての会員が、自分の実現したいことがみつかるといいですね。そのためには何か1つのテーマにこだわりをもつこと。たとえば褥瘡ケアに興味があるのであれば、その領域のスキルを高めて認定看護師の取得を目指す、新人であれば、最初の数年間を希望部署に配属することによって、目指す何かを見出ししてくれるのではないのでしょうか。それには受け入れ体制づくりが必要です」

山元会長は、自身の体験を踏まえて、「自己実現」についてそう語ります。「国際人となる」については、「身近な目標として東京オリンピック・パラリンピックで活躍できる看護師を養成したい」といいます。東京都看護協会では、東京オリンピック・パラリンピックに英語を話せる看護師を1日100人送り出すことを目的に、この4月から研修科目の中に英語を加えました。医療英語も含めて中学生レベルの会話を基本に、3年間で3千人を教育できるプログラムを設けています。

「英語を学び、外国人に自信をもって話しかけられるようになることは、国際学会での発表、海外への派遣支援など、活躍の場を拓ける大きなきっかけになるのではないかと期待しています。そのための、研修等の環境づくりも東京都看護協会の役割の1つだと考えています」。

「社会人としての成長」については、「目の前にある課題を、今できないからといって漫然と放置しないことが大切です。

“できるチャンスを見逃してはいけません”。たとえ、一時課題から逃げ出したとしても、それは放置とは違い、1つの意思、つまり自分の意図的な意志なので、自分を大事にすることが大切です。逃げ出した先で、別の興味をみつけら

れるかもしれません。諦めずにできるようにになりたいと思う気持ちが成長につながり、それにより他人の成長も喜んであげられる自分になれる」と強調します。

意思をもって復職すれば継続できる

東京都では約12万人の看護職が働いています。医療施設に約10万人、訪問看護ステーションに約5千人、介護老人保健施設に約5千人、教育関連施設に約1万人という内訳です。

「今後は、訪問看護の領域を拓ける必要があります。多くの看護職に、地域住民の健康を守るため、いのち・暮らし・尊厳を守り支援する、といった本来の看護の仕事に立ち返ってほしいですね。それは子育てや介護などを理由に離職されて復職を考えている方も同様です。そして1歩を踏み出す際には、“いまはこの条件でしか就労できないけれども、将来的にはここまで可能”と提示していただくと、本人も職場も現場も受け入れやすくなります。お互いの条件の確認をスタートにして、ぜひ仲間のもとに戻ってきてほしいですし、“働きたい”という意思をもって復職すれば継続できると思います」。

現場にいる看護職を後押ししたい

山元会長は、3人の子育てをしながら、看護師として臨床、管理、教育の仕事に携わってきました。一方で、ラオス都市部近郊の住民の健康に関するボランティア活動を行い、また2016年には経鼻栄養チューブ挿入の安全管理に関する論文で、看護職として国内初の、危機管理学の博士号を取得しました。

「私はこれまで、多くの人たちに支えられ、チャンスを与えられながら進んできました。めげそうになったこともあります。乗り越えられたのは仲間がいたからです。現場にいる看護職も仲間とチャンスに出会い、求められている自分を感じてほしいと思います。看護の現場で主体的な活動ができるよう後押ししていきたいですね」。



小池都知事に
予算要望書を
手渡す山元会長

つれづれ……

昨年末の12月30日に作家の渡辺和子さんが亡くなりました。「置かれた場所ので咲きなさい」は読まれた方もたくさんいらっしゃると思います。わが家の猫の額よりも狭いベランダでは、いくつかの植物が育っています。メキシコ産のアボガドを食べた後、種を鉢に埋めたら芽が出て1メートルを超える木になった変わりものから、定番のゼラニウム等々。いろいろと気を使って手入れをしたつもりなのに、枯らしてしまったり植物がたくさんあります。反対にダメにしたかなと思いつつ慌てて手をかけると復活して見事に花が咲くなど、千差万別です。わが家の環境に合う植物もあり合わない植物もあるということでしょうか。

再就職の第一歩は自分を知り相手(職場)を知ること。「置かれる場所」のミスマッチを最小限にするために、ぜひナースプラザに足を運んでみてください。

あなたの復職を応援している職員がお手伝いいたします。

(A・O)

●都内で19番目に多い街路樹● アオギリ

表紙イラストの「アオギリ」はこんな木です。

アオギリは、アオイ科アオギリ属の落葉高木で、日本では沖縄・奄美大島に自生します。樹皮が緑色なのが特徴で、名前の「アオ」もそこからきています。小さな白い花は7月ごろ咲き、雌花と雄花が同じ花序の中に混在します。果実は10月ごろ熟して5片に開きます。舟形の1片には径6ミリほどの丸い種子が1〜5個付き、それを重心としてくるりくると回転しながら風に乗ります。

近縁の植物には、古くから食品として利用されてきたカカオとコーラがあります。本種の種子も「梧桐子(ごとうし)」と呼ばれる生薬で、健胃、消化薬となります。

看護職の届出制度

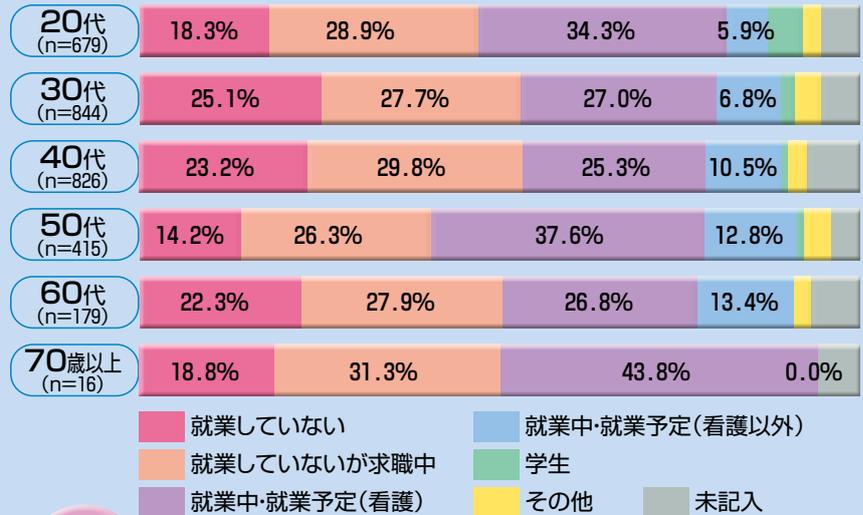
統計

2015年10月に看護職の届出制度が始まり、1年半が経過しましたが、あなたはもう届出を済ませられましたか？
2016年12月末までに東京都ナースプラザに届出られた方の状況をお知らせします。

離職中の方は届けるワン



- 届出数:3,318人(住所、生年月日等の未登録者359人を含む)
- 届出者の年代別状況(n=2,959人)



お願い

項目によっては未記入が多く見られます。住所、生年月日、就業状況などの記入にご協力ください。

東京都ナースプラザは看護職の復職を支援しています!

- 「就業していない」方へ
届出後に、復職を支援する情報をお送りしています。
- 「就業していないが求職中」の方へ
お仕事探し(eナースセンターへの求職者登録)を行っていただいた方に、就業に向けたさまざまな情報を提供しています。



ナースバンク東京 TEL03-3359-3388

ACCESS

ナースバンク東京

- JR中央・総武線 飯田橋駅東口から徒歩7分
- 東京メトロ東西線・有楽町線・南北線 飯田橋駅 出口B1から徒歩6分
- 都営大江戸線 飯田橋駅 出口C1から徒歩5分
- 都営大江戸線 牛込神楽坂駅 出口A3から徒歩5分

ナースバンク立川

- 新所在地:立川市曙町1-21-1
ユニソ立川ビル6階
- JR中央線・青梅線・南武線 立川駅北口から徒歩7分
 - 多摩都市モノレール線 立川北駅から徒歩7分

東京都ナースプラザ 検索

- ホームページ:<https://www.np-tokyo.jp/>
- Eメール:np@np-tokyo.jp



ナースバンク立川 TEL042-529-7077